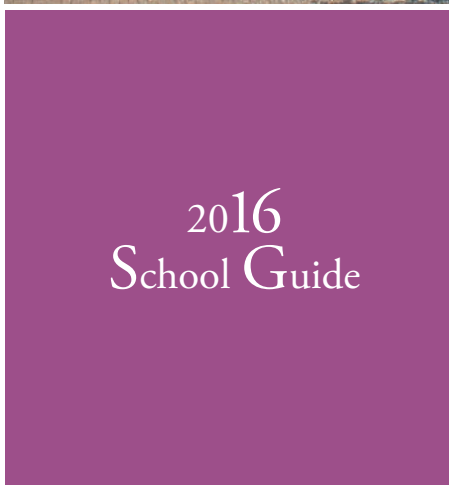




# 情報学群 知識情報・図書館学類



*College of Knowledge and Library Sciences  
School of Informatics*



## 筑波大学全景

# 知識共有をたすける 「知識人」

現代社会に生きるわれわれは、膨大かつさまざまな情報に取り囲まれ、めまぐるしい日々を過ごしています。大昔からこれまで、人類は必要な知識をいろいろな方法で後世に伝えてきました。図書館は一例ですが、現代ではネットワークやデジタル情報など、多様なものがあります。

ちまたの情報から有用な知識を引き出し、それを有効に活用することがますます重要になっています。そのため、高度な技術力はもちろんのこと、真偽を判断する能力をもち、著作権などの社会制度にも詳しい幅広い知識をもった人材が求められています。

知識情報・図書館学類では、知識共有のスペシャリストの養成をめざしています。社会における知識共有を支える人、知識共有のために新しい技術を開発する人、先端的図書館をリードする人、知識を扱うための知識を普及させる人など、多様な人材を育てようとしています。

私たちが足がかりに、国際的に活躍する知識のスペシャリストとして未来を担ってみませんか。

知識情報・図書館学類長

長谷川秀彦



## 春日エリアの施設





# 目次

学ぶ	2～6
研究室訪問	7
知識情報学の研究～MLA連携～	8～9
教員紹介	10
入試	11
進路	12～15
学生生活Q&A	16～17
3年次編入	18～19
先輩から	20～21

筑波大学  
天王台  
エリア

筑波大学  
春日  
エリア





# 学ぶ

## ■ 知識情報・図書館学類とは？

みなさんは何かについて知りたいと思ったとき、どうしていますか？まわりにある情報の多さに困惑していませんか？知識情報・図書館学類では、情報化社会に生きる私たちが知識や情報を有効に活用するためのさまざまな仕組みを扱います。そこには、社会に息づく図書館もあれば、広大なインターネットの世界、膨大な情報やデータの利用と分析、未来への知識や情報の伝達などが含まれています。

知識や情報を有効に活用するためには、その性質を的確にとらえ、それらを扱うシステムを設計・構築する必要があります。システムを創るためには、制度や文化、運営について考えなければなりません。知識情報・図書館学類では、これらの課題について「知識科学」、「知識情報システム」、「情報資源経営」の三つの主専攻が協力して、知識や情報と社会をつなぐ人材を育成します。

## ■ カリキュラム

知識情報・図書館学類のカリキュラムは図1のようになっています。1年次には、総合科目、外国語や体育などの基礎科目に加えて、知識情報、情報システム、情報社会と法制度などについての概論や、プログラミング演習、統計などの専門基礎科目を通して、基礎的知識や技術を学びます。2年次には、1年次に得た知識や技術

をさらに深めていくため、主要なテーマごとに設定された講義と、技術を修得する知識情報演習などからなる専門基礎科目を履修します。3年次になると三つの主専攻のいずれかに属して、専門科目を履修します。多様な視点を育成するため、所属する主専攻の専門科目だけでなく、他の主専攻の専門科目も履修することが要求されます。4年次には、研究室に所属して卒業研究を行い、卒業論文を執筆します。卒業時には学士（図書館情報学）があたえられます。資格取得をめざす人のために、司書教諭、司書の科目も開講しています。

学修の達成度はGPA（Grade Point Average）によって容易に把握できるようになっています。GPAとは、成績を点数化したもので、修学指導や大学院への推薦などに使われています。

## ■ 専門教育

知識情報・図書館学類の専門教育の内容は、三つの主専攻に集約されています。各主専攻の特徴は、表1のようになっています。知識科学主専攻は「人間」、知識情報システム主専攻は「情報技術」、情報資源経営主専攻は「社会」をキーワードに、幅広い視野を養い、専門領域の内容に即して、人間、技術、社会・文化の結合と相互の役割を理解するための科目を展開しています。

図1 知識情報・図書館学類のカリキュラム体系

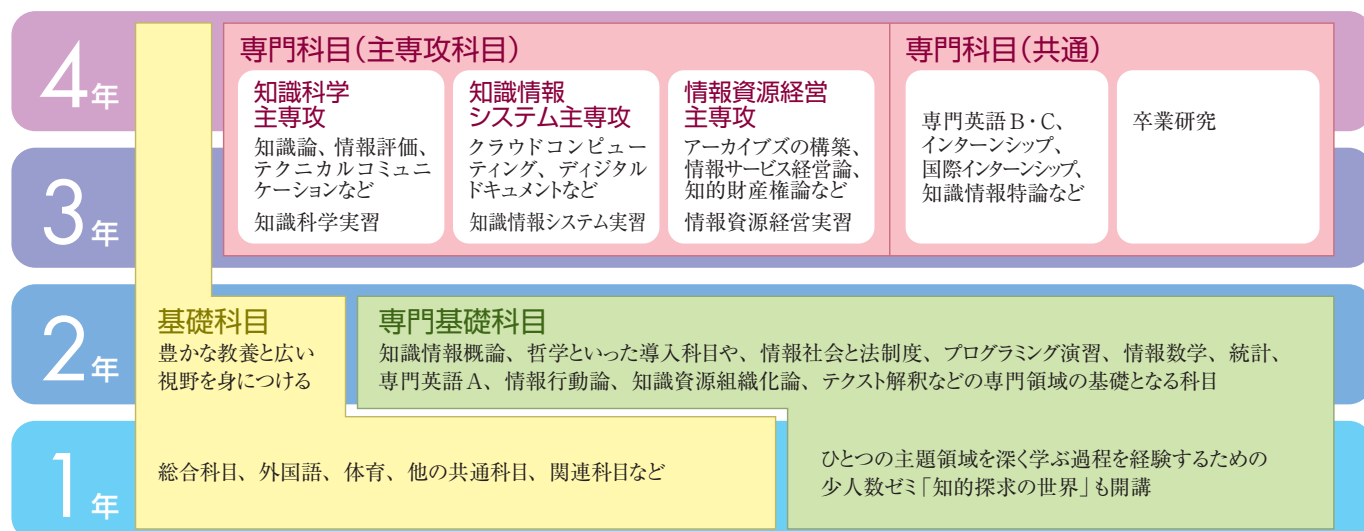


表1 各主専攻の特徴

	知識科学主専攻	知識情報システム主専攻	情報資源経営主専攻
ポイントは?	人 間	情報技術	社 会
何を学ぶか?	知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用	ネットワークにおける知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用	知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用

図2 知識情報・図書館学類の科目一覧

学群共通科目		専門科目	
<p>情報社会と法制度</p> <p>知的財産概論</p> <p>体験型システム開発</p>		<p><b>知識科学主専攻</b></p> <p>[専門情報] 特許情報論, 医療情報論, テクニカルコミュニケーションサイエンスコミュニケーション</p> <p>[知識共有] 知識論, 知識コミュニケーション, レファレンスサイエンスメディア社会文化論</p> <p>[知識行動] 学術メディア論, コミュニティ情報論, 図書館建築論</p> <p>[知識発見] 知識構造化法, 情報評価, 生命情報学, データマイニング</p>	<p>☆主専攻実習</p> <p>☆卒業研究</p> <p>☆専門英語B・C</p>
<p>☆は必修科目</p>		<p><b>知識情報システム主専攻</b></p> <p>[知識情報システムの実際] デジタルライブラリ, デジタルドキュメント, 情報サービスシステム</p> <p>[知識情報システムの実装] マルチメディアシステム, 情報検索システム, Webプログラミング, アーカイブズの利用</p> <p>[知識情報システムの設計] データベース技術, データ表現と処理 情報デザインとインタフェース, ヒューマンインタフェース</p> <p>[知識情報の組織化] 知識資源の記述, 知識資源の分析, 知識資源の用語管理</p> <p>[知識情報システムの原理] データ構造とアルゴリズム, テキスト処理, マークアップ言語クラウドコンピューティング, ソフトウェア工学</p>	
<p><b>基礎科目</b></p> <p>☆第1外国語</p> <p>☆総合科目I (フレッシュマン・セミナー, 情報リテラシ実習)</p> <p>☆総合科目II</p> <p>☆総合科目III</p> <p>☆体育</p> <p>☆第2外国語</p>		<p><b>情報資源経営主専攻</b></p> <p>[知識情報環境の構築] 図書館論, 学術情報基盤論, 経営情報システム論</p> <p>[知識情報サービスの経営] 情報経済論, 情報サービス経営論, パブリックガバナンス論</p> <p>[知識情報サービスの構成] 情報サービス構成論, コレクションとアクセス Comparative Study on Library and Information Services</p> <p>[知識情報の社会化] 教育文化政策, 学校図書館論, メディア教育の実践と評価</p> <p>[知識情報の規範] 情報法, 知的財産権論(著作権法), 図書館情報法制度論</p> <p>[メディア文化] 映像メディア論</p> <p>[図書館と書物の文化] 図書館文化史論, 中国図書館学, 日本図書館学, アーカイブズの構築</p>	
<p><b>専門基礎科目</b></p> <p>[知識情報学への導入] ☆知識情報概論</p> <p>☆哲学 情報システム概説 図書館概論</p> <p>[情報リテラシ] ☆情報基礎 ☆情報基礎実習</p> <p>[プログラミング基礎] ☆プログラミング演習I, II</p> <p>[数学] ☆情報数学 基礎数学A, B</p> <p>[統計とその応用] ☆統計</p>		<p><b>学類共通</b></p> <p>[知識情報特論] 知識情報特論I, II, III, IV</p> <p>[司書教諭科目] 学校図書館メディアの構成, 学習指導と学校図書館読書と豊かな人間性, 情報メディアの活用</p> <p>[インターンシップ] インターンシップ, 国際インターンシップ</p>	

## ■ 特色ある科目

1年次には、大学生活への適応を支援する「フレッシュマン・セミナー」に引き続き、文章を読む、まとめる、議論する、発表するなどの基礎能力を養う「情報リテラシ実習」を必修科目として開講しています。また、文理融合型のカリキュラムによって総合的な能力を育てるとともに、2年次と3年次には必修の演習（「知識情報演習」、「知識科学実習」、「知識情報システム実習」、「情報資源経営実習」）を開講し、知識と技術の確実な定着をめざします。さらに、4年間を通して英語力を維持向上させるために英語による授業（専門科目）を開講したり、実社会での専門的な職業体験ができるよう、図書館や企業における「インターンシップ」を開講しています。

## ■ 国際インターンシップと海外研修助成

筑波大学は知識情報学の国際的研究教育拠点であり、世界的な交流が行われています。その交流関係を活かして、平成21年度よりカナダ、アメリカ、中国、韓国における様々な図書館や情報センターと連携した「国際インターンシップ」を開講しています。受講者は研修先に10日間ほど滞在し、相手国の図書館や情報センターの業務を見学・実習することで、国際感覚やコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を養います。これまでの研修先と受講者数は表2を参照してください。また、ハワイ大学や釜山大学など、海外の学生が筑波大学を訪問した際には、講義や見学をとおして、日本の図書館や関連機関について学ぶ機会も提供しています。



さらに、同窓会である茗溪会支部 図書館情報学橋会の支援を受け、知識情報学に関する国際的な知見を深めるための短期海外研修事業として「図書館情報学海外研修助成」を実施しています。この事業では、自分が作成した海外での研修プランに対して、渡航費や滞在費などが助成されます。毎年、学類生と大学院生の数名が助成を受けています。

## ■ 組み込み技術キャンパスOJT

平成27年度より、知識情報・図書館学類も組み込み技術キャンパスOJTに参加します。ここでは、先端ITベンチャー企業から派遣された技術者の指導をキャンパス内で受けながら、実践的な技術が習得できます。

## ■ 早期卒業

知識情報・図書館学類では、成績優秀な学生は、卒業に必要な単位（卒業研究を含む）を取得すれば、本人の希望により3年次末で卒業できます。

表2 国際インターンシップ受講者数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
カナダ（プリティッシュコロンビア大学、トロント日本文化センター）	—	2	1	2	1	1
アメリカ（ハワイ大学、ミシガン大学、ピッツバーグ大学）	3	2	1	—	2	1
中国（上海図書館）	3	—	—	5	—	2
韓国（釜山大学）	—	—	3	6	1	1

表3 図書館情報学海外研修助成を受けたテーマの例

公共図書館における資料選択のアウトソーシング（アメリカ ハワイ州）
地域の特徴を活かした公共図書館のプログラム（ニュージーランド）
北欧の公共図書館におけるIT利用支援サービス（デンマーク コペンハーゲン）
日本のNGOによる開発途上国の図書館への支援（ラオス）
20世紀初頭のアメリカ公共図書館における日系人問題（アメリカ カリフォルニア州）
欧州諸国と日本の図書館の比較（イギリス、フランス、オランダ、ベルギー、デンマーク）



## ■春日ラーニングコモンズ (KLC)

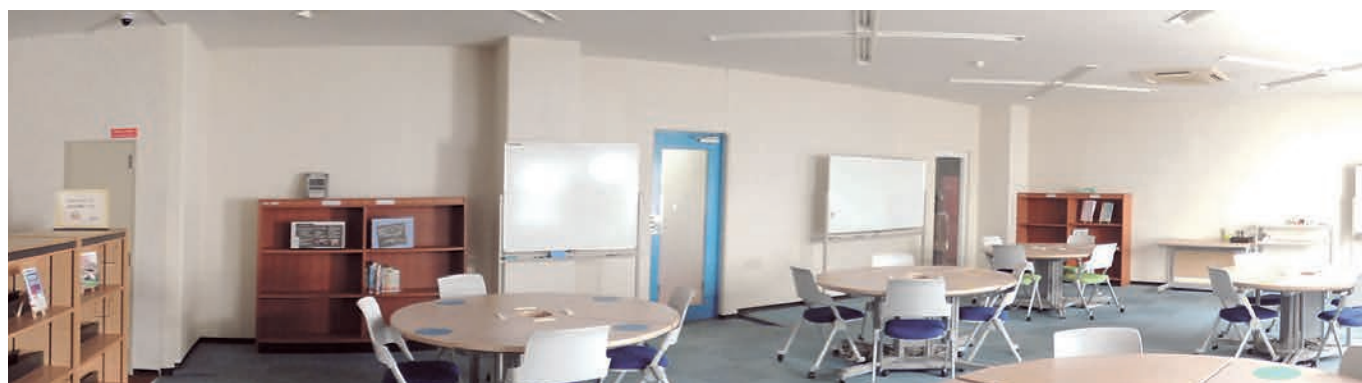
ラーニングコモンズとは、大学図書館内に形成された「学習するための共有スペース」です。KLC (Kasuga Learning Commons) は図書館情報学図書館のなかにあります、だれでも利用できます。

KLCはICT環境が整っています。また、カラープリンタ、大型ディスプレイ、ホワイトボード、ミーティングテーブルなども設置されています。KLCには上級生チューターが質問を受け付ける専用カウンターがあり、平日の15:00～19:00には1名以上のチューターがいて、講義や履修に関する質問を受け付けています。

1年のときにラーニングコモンズで上級生からレポートの書き方や、パソコンをネットワークに接続する方法を教わった学生が、今度はチューターとしてみなさんの入学を心待ちにしています。



上級生チューターが質問を受け付けるカウンター



KLC

## ■司書資格と司書教諭資格

知識情報・図書館学類では、司書と司書教諭の資格が取得できます。司書や司書教諭は他の大学でも取得できますし、場合によっては通信教育や司書講習でも取得できます。しかし、同じ資格でも、知識情報・図書館学類は以下の点が異なります。

- (1) 資格のための科目ではなく、知識情報学の専門科目として自然に位置づけられています。
- (2) 現在の図書館は情報センターとしても機能しています。司書資格の多くは文系学科で取得しますが、本学類では理工系、たとえば情報システムにも明るい学生を育てています。
- (3) 図書館での現場実習が「インターンシップ」「国際インターンシップ」として組み込まれています。

単なる資格として取得するか、実力の伴った資格にするか、それはみなさん次第です。

## ■テクニカルコミュニケーター専門課程

テクニカルコミュニケーターとは、仕事としてテクニカルコミュニケーション（機器や各種サービスに関して、利用者が求める情報を、正確かつわかりやすく表現するとともに、効果的に提供すること）に携わる人々のことをいいます。テクニカルコミュニケーターには、単なる情報処理能力のみではなく、ライティングや検索、企画力、法的知識など、幅広い能力が求められます。

2012年度より、一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会（JTCA：テクニカルコミュニケーションの専門家団体）が、テクニカルコミュニケーター専門課程の認定を開始しました。これは、JTCAが定めた専門分野に関する科目を開講する大学学部を認定するもので、知識情報・図書館学類はこの認定を取得しました。知識情報・図書館学類の定められた科目を履習し、JTCAに申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程の修了認定が受けられます。

## ■卒業研究はどんなことをやるの？

4年次の卒業研究では、知識や情報に関する専門性に加えて、社会に出て役立つ基礎的なスキルを修得します。はじめに関心のある研究テーマを見つけ、その研究テーマに関する文献を読み、新しいシステムをつくったり、調査を行ったりすることを通して、さまざまな発見をします。その成果を、卒業研究論文としてまとめます。このような過程や研究成果をまとめるなかで、知識や情報に関する専門性が深められます。

卒業研究の枠組、経過、最終的な成果などを報告する発表会は3回あり（着手発表会、中間発表会、最終

発表会）、限られた時間のなかで効果的なプレゼンテーションを工夫し、質疑応答も経験します。このような発表会を通して、社会で役立つプレゼンテーション能力、論理的思考力、文章力などが鍛えられます。卒業論文執筆の過程では、論理的に説明する力や文章力が培われます。

これまでの卒業研究のタイトルと抄録は学類ウェブページから見られます。卒業研究論文はpdfファイルで保存され、図書館情報学図書館で全文が閲覧できます。

表4 卒業研究題目の例（平成23～26年度）

知識科学主専攻
学習スタイルによる最適な外国語e-Learning教材の選定に関する検討
利用者が図書館に抱くイメージの形成過程
アイスブレイカーの類型化と対人関係における効果
VOCALOID 人気楽曲におけるメロディーの特徴
科学コミュニケーション活動の参加者の意識
Q&Aサイトの質問と図書館におけるレファレンス質問との差異
知識情報システム主専攻
ソーシャル付箋の提案 —感性を用いた読者間コミュニケーション支援システムの開発—
フォロー別フィルタによるツイートフィルタリングに関する研究
画像処理を用いた視覚環境の拡張
絵画展示におけるAR技術を用いた解説システム
紙媒体の命令オブジェクトを用いたタンジブルなプログラミング環境
協調学習を用いた日本の文化に触れるシステム「妖怪を追いかけて」の構築
情報資源経営主専攻
家庭環境が幼児の読書能力に及ぼす影響
明治期における図書館と博物館の組織的な併合と分離
クラウドコンピューティングと著作権法上の課題 —著作物の利用主体性を中心に—
津軽の俳諧研究 —芭蕉二百回忌を中心に—
高齢者によるまちづくり活動と公共図書館の関わり —鹿児島県鹿屋市柳谷集落を中心に—
表示媒体が誤りを探す読みに与える影響



ゼミの風景



知識科学主専攻の着手発表会



知識情報システム主専攻の中間発表会



情報資源経営主専攻の最終発表会



# 研究室訪問



## 横山 幹子 准教授 (知識科学主専攻)

私たちはさまざまな知識を共有しながら、日々の生活を営んでいます。たとえば、「学校の裏のアイスクリーム屋のアイスクリームがおいしいこと」、「隣の家の猫が三毛猫であること」、「雪道が滑るということ」……。そしてそのような知識を共有することで、さまざまな行動を起こしたりします。たとえば、「学校の裏のアイスクリーム屋のアイスクリームがおいしい」という知識を共有する友人同士が、その店にアイスクリームを食べに行ったりします。「雪道が滑る」という知識を共有しているために、注意深く歩いたりします。その

意味では、知識を共有することは、人間が社会の中でよりよく生活していくためには、不可欠なことだと考えられます。

では、共有されると言われる「知識」とはどのようなものなのでしょうか。そして、知識をどのようなものと考えたら、知識を共有することができるのでしょうか。知識を巡るそのような問題を解決しようとしてきた学問のひとつが、哲学であり、特に哲学の中でも、認識論（知識論）と呼ばれる分野です。

横山研究室では、哲学的視点から、知識を巡るさまざまな問題を考えることをめざしています。学生は、「知っているとはどういうことか」から始まり、知識の本質、知識の限界、知識の確実性、知識の共有等々さまざまな問題に取り組んでいます。これまでの卒業研究には、知識は個人の心のなかにあるのか、それとも社会の中にあるのかについて考察したもの、言語という記号で表現されるものと絵画という記号で表現されるものの違いについて考察したもの、コンピュータの理解と人間の理解の違いについて考察したもの等、さまざまなものがあります。

文献研究が中心になりますが、ゼミでの発表や討論を通じて、論理的思考力、発想力、コミュニケーション力を鍛え、批判的に考えることのできる人になってもらえたら嬉しいと思っています。



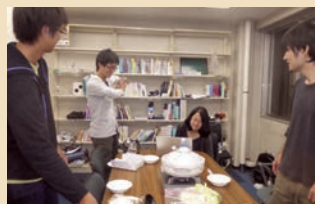
## 手塚 太郎 准教授 (知識情報システム主専攻)

人類が現在のような繁栄を手に入れることができたのは、経験のなかから知識を獲得し、体系化する能力によってではないでしょうか。この能力の本質を明らかにすることで、コンピュータにも人間と同じようにデータから知識を獲得する力を与え、さらなる進歩を実現しようとする研究が活発に行われています。手塚研究室では確率論や統計学に基づきデータから有益なパターンを発見し、構造化された知識を得ていくプログラムの開発を行っています。

インターネットやセンサーネットワークをはじめとして、膨大な量の電子的なデータが蓄積されている現在、これらの手法には幅広い応用があります。文書や画像、時系列データなどに対し、グラフィカルモデルやニューラルネットワークなど、データの特性にあわせたモデルを構築し、学習手法の実現に取り組んでいます。

研究室では毎週、輪講やゼミを行っています。輪講では基礎的な技術に関するテキストを用いて学生が順に発表し、理解を深めています。ゼミでは各自の研究に関してディスカッションを行い、問題の解決に向けての検討を行っています。夏休みの旅行やスポーツイベント、鍋などを通して研究室での親睦を深めるようにもしています。データを解析する力、問題について深く考え、解決を模索する力は実社会に出て必ず役に立つと思います。意欲を持った学生がメンバーとして加わってくれることを心待ちにしています。

<<http://xi.kc.tsukuba.ac.jp>>



## 吉田 右子 教授 (情報資源経営主専攻)

公共図書館は地域住民の生涯学習を支えるコミュニティ・メディアです。情報や学習にかかわる機関は他にもたくさんありますが、あらゆるメディアに含まれる情報の収集・提供・保存を行い、体系的に組織化された情報が司書という情報専門職によって提供される点で、公共図書館はとてもユニークな文化施設です。

しかしこうした公共図書館のもつパワーが十分に利用者に伝わっていないのではないかと

という問題意識から、吉田研究室では図書館が地域にとけ込み、住民が積極的に図書館サービスを利用している北アメリカやスカンディナヴィア地域の公共図書館を対象に研究を行ってきました。最近では社会的・経済的に困難な状況にある人びとに、さまざまなメディアを通じて文化を手渡すための活動を続けている途上国の図書館を研究対象にする学生も増えてきました。

これまでの研究室の卒業研究のテーマは「アメリカの公共図書館における〈遮断された人々〉に対するサービスについて」、「フィンランドにおける公共図書館の役割—ヘルシンキ市立図書館の取り組みを中心として」、「スウェーデンにおける移民・難民への図書館サービスについて」、「日本の NGO による開発途上国への図書館支援について—公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の取り組みに着目して」、「ネパールにおける NGO による図書館設置活動の現状と課題」などです。

海外での調査を自力で終えて帰ってきた研究室の学生は、いつも驚くほどたくましくなっています。ぜひ一緒に公共図書館を再発見しましょう！



スウェーデン ホーグ・ダーレン図書館



デンマーク ルングビュー図書館



# 知識情報学の研究 ～MLA連携～

知識情報・図書館学類の領域で、近年、注目されている研究テーマに「MLA 連携」があります。

## ■ MLA 連携とはどのようなものなのでしょうか？

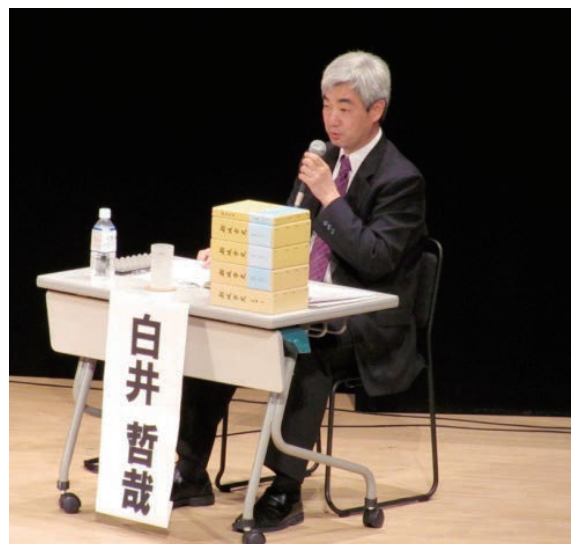
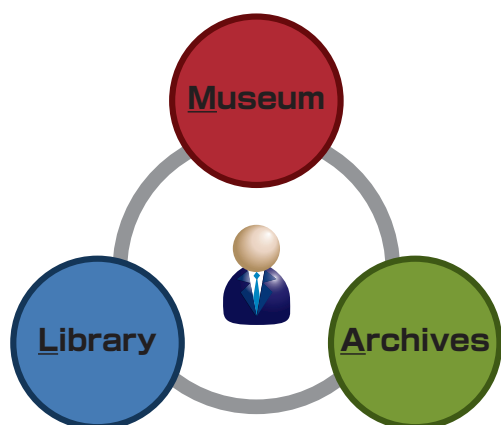
現代社会の「三大文化施設」と呼ばれる施設は、博物館 (Museum)、図書館 (Library)、そして文書館 (Archives) です。図書館は図書を保存して利用に供し、博物館は貴重な文化財を保存して展示公開します。文書館は、まだ日本では数が少ないですが、歴史的に重要な文書記録や近現代の公文書などを保存・利用するための施設です。

この三つの施設は、それぞれ固有の役割と歴史をもって現在に至っています。一方、過去からの貴重な資料や情報を保存し、現在・未来の社会へ発信しようとする点で、各館は共通した機能をもっていると言えます。

そこで、ここ20年あまり、保存して利用の観点から3館が協力していこうとする機運が高まり、世界各地でさまざまな取り組みが行われてきました。この取り組みを3館の頭文字をとって MLA 連携と呼んでいます。

## ■ MLA 連携の現状について教えてください

MLA 連携の具体的なあり方は、リアルな面とデジタルの面に分けることができます。リアルな面では、各館が貴重な資料の保存利用でどんな協力関係を結べるか、来館者へのサービスでどんな連携を図れるかなどを考えます。デジタルの面では、インターネット上に各館の資料情報を掲げ、来館しなければ得られなかった知識を横断的に獲得できることをめざします。



宮崎県都城市にて (2010年)

## ■ MLA 連携の課題について教えてください

MLA 連携を実現するためには、本来の各館の業務が適切かつ活発に行われる必要があります。そこには学芸員 (博物館)、司書 (図書館)、アーキビスト (文書館) と呼ばれる専門職員が不可欠です。今、博物館、図書館、文書館が果たすべき役割を見直し、現代社会へそれらの意義を強く発信することが求められています。

MLA 連携を図書館の立場から考えるとき、各地の公共図書館がもっている地域資料は大きな存在です。

50年以上前の日本では、図書館が地域のなかでほぼ唯一の文化施設でした。だから、今なら文書館や博物館が保存している歴史的に貴重な資料も、当時は図書館が保存してきました。そのような資料保存の経緯を踏まえ、各館の貴重な資料へ利用者が的確にアクセスできる方法を考えることは、MLA 連携の課題のひとつです。

地域資料とは：その土地で発行された図書・雑誌のほか、古写真、数百年前の古い文書記録、図面など



## ■ 研究について教えてください

現在の私の専門分野は、日本アーカイブズ学です。

私はもともと江戸時代の古文書を研究していました。その後、現代の公文書も歴史的に重要な資料であるという意識が社会的に拡がり、公文書の管理や保存についても調査研究を行うようになりました。

2011年の東日本大震災以降、私は被災した古文書や公文書の救出活動に取り組み、茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク（茨城史料ネット）の結成に参加して、茨城・福島・栃木の被災地で活動しました。現在は、福島第一原子力発電所事故で避難を余儀なくされている福島県双葉町役場の支援活動に従事し、震災関係資料の保全と調査研究に取り組んでいます。

## ■ 研究室の紹介をお願いします

私のゼミでは、1)日本アーカイブズ学、2)図書館地域資料論、3)日本の地方史・地域史などを主に研究しています。

学生たちは、それぞれ自分の研究テーマを決め、参考文献や研究論文を探して読み込み、どこに研究上の問題点があるかを考えます。その一方で、研究テーマを具体的に掘り下げるための各種調査に取り組みます。文献調査、インタビューなど、調査方法はさまざまです。そして自分たちの研究内容を、定期的にゼミで発表します。お互いに質疑応答を交わすと、思いもかけない発見がきます。

このほか、機会があれば各地の博物館・図書館・文書館の見学会も行っています。もちろん、ときどきみんなで楽しい懇親会もやります。

私のゼミでは、歴史資料の調査合宿を定期的に行っています。被災地で救出・保全された資料の整理作業に参加することもあります。古文書や公文書が保存されている現地へ出かけて行き、直接手にとって取り扱う経験は、何物にも代え難い感動を覚えます。

そのような経験を通じて、過去から伝えられた貴重な文書や記録は、私たちがまた未来へ伝えていかなければならないという使命感を体得してもらいたいと思います。

アーカイブズ学とは：文書館で保存利用できる資料とは何か、それらはどのように保存されてきたのか、それらを未来へ保存し、利用するためにどう取り扱えばいいのかなどを実践的に調査研究する日本では新しい学問

## ■ 本学類をめざすみなさんにメッセージをお願いします

「好きこそものの上手なれ」という言葉があります。激動する現代、先のことなど誰にもわかりません。そういうときは、さしあたり自分がおもしろいと思うこと、興味ある物事に取り組むといいでしょう。その時に大事なのは、できるだけ広い視野で考え、知識を得ることです。知識情報・図書館学類は、そうしたみなさんの知的好奇心を満たしてくれる場所だと確信します。



東日本大震災による津波被災資料の保全調査（茨城県鹿嶋市 2011年）



福島県双葉町役場が保有した震災関係資料の保全と調査研究  
(2013年 筑波大学広報室提供)



歴史資料調査合宿（埼玉県飯能市 2010年）



# 教員紹介

## 知識科学主専攻

### 岩澤 まり子

- 情報組織化
- 情報共有
- 医療情報

### 大澤 文人

- 教育におけるマルチメディアの活用
- 教育におけるコンピュータの活用

### 三波 千穂美

- テクニカルコミュニケーション
- サイエンスコミュニケーション
- 文書リテラシー

### 照山 絢子

- 文化人類学
- 医療人類学
- コミュニケーション学

### 中山 伸一

- 情報化学
- 感情予測
- 情報知識化

### 真榮城 哲也

- 生命現象の解明
- さまざまなモノの関係性
- 専門知識の利用

### 三森 弘

- 建築学
- 学習空間デザイン
- ラーニングコモンズ研究

### 芳鐘 冬樹

- 研究者の生産性
- 研究協力ネットワーク
- 計量書誌学

### 干 海濤

- 知識情報学
- インタラクティブ情報検索

### 後藤 嘉宏

- メディア社会学
- 社会思想史
- マス・コミュニケーション論

### 上保 秀夫

- インタラクティブ情報検索
- コンテキスト
- レファレンスサイエンス

### 歳森 敦

- 選択行動モデル
- 選好意識の解明
- 地域施設計画

### 長谷川 秀彦

- データサイエンス
- ハイパフォーマンスコンピューティング
- 数値線形代数

### 松林 麻実子

- 情報行動
- メディア分析
- コミュニケーション

### 横山 幹子

- 知識の確実性
- 知識の共有
- 言語と思考

## 知識情報システム主専攻

### 宇陀 則彦

- 電子図書館
- 情報資源共有
- 知識現象の解明

### 佐藤 哲司

- 情報アクセス
- 知識写真とコミュニティ分析
- コンテンツ工学

### 関 洋平

- 情報アクセス
- 自然言語処理
- コミュニケーション支援

### 辻 慶太

- シソーラスの自動構築
- レファレンスサービス
- 図書推薦システム

### 時井 真紀

- 計算物理
- 計算機シミュレーション
- 情報表現

### 松村 敦

- Web 情報システム
- 情報検索インターフェース
- 絵本の推薦

### 水嶋 英治

- 博物館学
- 博物館情報学
- デジタルアーカイブ

### 森継 修一

- 数式処理システム
- アルゴリズム
- 数学的知識

### 阪口 哲男

- 迷惑メール対策技術
- 次世代のインターネット利用技術
- 情報の蓄積と共有を推進するシステム

### 鈴木 伸崇

- XML
- 構造化文書
- アルゴリズム

### 高久 雅生

- 情報行動
- 電子図書館
- 情報検索

### 手塚 太郎

- 機械学習
- 信号処理

### BARYSHEV EDUARD

- 国際関係史
- 比較社会学
- アーカイブズ学

### 松本 紳

- 計算物理
- サイエンティフィックビジュアルライゼーション

### 緑川 信之

- 知識の組織化
- 知識資源の組織化
- 分類

### 若林 啓

- 機械学習
- 統計的言語モデル
- データマイニング

## 情報資源経営主専攻

### 池内 淳

- 公共図書館政策
- 図書館評価
- ウェブの計量分析

### 小泉 公乃

- 図書館の経営戦略と組織
- パブリックガバナンスと公共図書館
- 図書館のコレクション評価

### 辻 泰明

- 映像メディア
- 映像アーカイブ
- 映像コンテンツのインターネット配信

### 松本 浩一

- 人文学の資料
- 資料のデータベース化
- 中国文献学

### 吉田 右子

- 公共図書館論
- 生涯学習
- 図書館史

### 石井 夏生利

- プライバシー
- 個人情報保護
- 情報法

### 白井 哲哉

- アーカイブズ学
- 図書館地域資料
- 日本地方史

### 呑海 沙織

- 図書館文化史
- メディア史
- 知識情報基盤

### 溝上 智恵子

- 大学教育
- 教育政策
- 生涯学習論

### LO, Patrick

- 国際比較図書館学
- 音楽図書館学
- 図書館アウトリーチおよび広報

### 逸村 裕

- 学術情報流通
- 情報利用行動
- 大学図書館

### 鈴木 佳苗

- 児童青少年の読書
- メディア利用の影響
- メディア教育

### 原 淳之

- ヨーロッパの図書館
- 図書館文化史
- 図書館の国際比較

### 村井 麻衣子

- 知的財産法
- 著作権法
- 著作権の制限規定

### 綿坂 豊昭

- 日本の図書文化
- 江戸の書籍文化
- 和歌・連歌・俳諧

### 大庭 一郎

- 情報サービス(レファレンスサービス)
- 公共図書館
- 図書館職員

### 田村 肇

- 経済分析
- 統計学
- コンピュータによるシミュレーション

### 平久江 祐司

- 学校図書館経営
- 学校図書館利用指導
- 情報リテラシー教育

### 毛利 るみこ

- 生涯学習振興・社会教育政策
- 教育関係法規



# 入試

大学説明会は2015年8月上旬です  
実際の大学を知るにはこれが一番。大学のことを知れば勉強意欲もわいてくる。

## 一般入試

大学入試センター試験と個別学力検査に基づく選抜(分離・分割方式)  
募集人員 前期日程60名 後期日程15名

## 前期日程はオールラウンドな人向け

選択科目(地歴・公民・理科)と数学、外国語、センター試験。数学は数Ⅱと数Ⅲでも受験できる。

## 後期日程は広い視野と独創性を重視

センター試験と小論文。小論文で自分の考え方をしっかりまとめるのがポイント。

## 推薦入試

高等学校長の推薦に基づく選抜  
募集人員 20名

## 論理的思考力とコミュニケーション能力

小論文では、論理的に考え、それをきちんと表現できるかが重要。  
面接では自分の考えをはっきり伝えること、説得力がポイント。

## AC入試

自己推薦に基づく選抜  
募集人員 5名

## 自分自身の課題でトライ

自分で見つけた課題に自ら取り組み、その成果を自己推薦書として提示。  
未知の課題を発見し、解決する能力をどれだけアピールできるかがポイント。

## 国際バカロレア特別入試

提出書類と面接・口述試験による選抜  
募集人員 若干名

## 主体的に学ぶ意欲

主体的に学ぶ意欲のアピールと論理的思考やコミュニケーション能力がポイント。

## 私費外国人留学生入試

日本留学試験とTOEFL、小論文、面接による選抜  
募集人員 若干名

## 知識と情報について学ぶ意欲と日本語能力

小論文は日本語で論理的に表現できるかがポイント。  
面接には知識と情報について学びたいという意欲をもって臨むことが大切。

日付は2015年4月から2016年3月の間

試 験	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入 試 科 目	配 点
AC入試	5名	9月	10月	10月	第一次…書類選考、第二次…面接(募集要項は6月公表予定)	—
国際バカロレア特別入試	若干名	8月頃	10月	10月	第一次…書類選考、第二次…面接(募集要項は6月公表予定)	—
推薦入試	20名	11月	11月	12月	小論文と面接	—
大学入試センター試験	—	10月頃	1月	—	国語 国語	200
					数学 数Ⅰ・数Ⅱ 数Ⅲ・数Ⅳ、簿、情報から1	200
					外国語 英(リスニングテスト含む)、独、仏、中、韓から1	200
					① 地歴 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 公民 現社、倫、政経、倫・政経から1	100 100
					理科 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 または物理、化学、生物、地学から1 [6教科7～8科目]	100
					② 地歴 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 公民 現社、倫、政経、倫・政経 } 理科 物理、化学、生物、地学から2 [5教科7科目]	100 200
個別学力検査 前期日程	60名	1月頃	2月	3月	数学 数Ⅱ・数Ⅲ、数Ⅳ・数Ⅴ、数Ⅵ・数Ⅶ、数Ⅷから1	400
					外国語 英Ⅱ・リーディング・ライティング、独、仏から1(事前選択)	400
					地歴 世B、日B、地理Bから1 公民 倫 理科 物理基礎・物理、化学基礎・化学、 生物基礎・生物、地学基礎・地学から1 } 1教科選択 (事前選択)	200
個別学力検査 後期日程	15名	1月頃	3月	3月	小論文	200
私費外国人 留学生入試	若干名	1月頃	2月	3月	日本留学試験(文科系または理科系)、TOEFL、小論文、 面接	—
3年次編入学	10名	6月	7月	7月	面接・口述試験(募集要項は4月公表予定)	—

詳細は必ず「入学者選抜要項」及び「学生募集要項」(2015年9月公表予定)を参照してください。大学入試センター試験においては、①または②を選択してください。

問い合わせ先 筑波大学 教育推進部 入試課 電話 029-853-6007



# 進路

## ■「自分にマッチ」したフィールドを！

知識情報・図書館学類の魅力は、文理融合型カリキュラムによって、知識と情報、人間、社会に関する基礎的な知識と技術を広く学びながら、自分が深めたいと思う専門領域を見つけられるところにあります。基礎教育を重視したカリキュラムは、将来、多様な分野で活躍できる下地をつくります。三つの主専攻ではそれぞれ専門的な知識と技術を修得することができます。大学4年間を通じて、知識情報にかかわる広大な世界に触れることは、みなさんの可能性を広げることになるでしょう。知識情報・図書館学類では、隠された自分の可能性を発見し、「自分にマッチ」したフィールドにたどり着くことができます。

## ■進学

本学はもとより、他大学の大学院に20～25%ほどの卒業生が進学しています。知識情報・図書館学類の教員が所属している大学院として、2年間の博士前期課程（修士課程）と3年間の博士後期課程（博士課程）からなる図書館情報メディア研究科があります。図書館情報メディア研究科には推薦入学の制度があるので、学類での成績が優秀ならば早い時期から自分の進路を定めることもできます。いろいろな専門分野を学んできた多数の大学院生とともに切磋琢磨し、より高度な知識と技術の修得、先端的な研究を行います。こうして身につけた能力を活かして、博士前期課程修了後にはより高度な専門性を必要とする職業に就くことができます。さらに博士後期課程へ進み、大学教員や研究者をめざす道もあります。また、図書館情報メディア研究科では夜間や土曜日に学習・研究ができるように、東京キャンパス文京校舎に東京サテライトを設けていますので、社会人として仕事をしながら大学院で研究を続けることもできます。

## ■資格取得

将来へのきっかけとして、大学在学中に資格取得を考えてみるのもよいでしょう。資格取得はスキルアップにもなりますし、自分への自信にもつながります。将来、どのような職に就いても、「知識」と「経験」はかならず力になります。

知識情報・図書館学類では司書資格、司書教諭資格、教員免許状が取得できます。司書教諭資格は、司書教諭

科目を履修し教員免許状を取得することで取得できます。教員免許状は、中学校教諭一種免許状（社会・数学）と高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）が取得できます。

また、自分の可能性を広げるため、TOEIC（Test of English for International Communication）や TOEFL（Test of English as a Foreign Language）、初級システムアドミニストレータ試験、基本情報技術者試験、経営学検定試験（初級）などの受験を勧めています。定められた科目を履習して、JTCA（5ページ参照）に申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定を受けることもできます。

## ■就職

知識情報・図書館学類の卒業生は、さまざまな分野で活躍しています。右図のように、就職先は、大きく「公務員・図書館・学校等」と「企業」に分けることができます。「公務員・図書館・学校等」では出身都道府県に就職する学生も少なくありません。また、企業への就職では、出版社、書店・取次、IT企業、インターネット関連会社、通信会社、銀行、サービス業などがあります。

今後ますます、知識の本質を理解したエンジニアや企画経営能力を有する開発者など、多様な視点をもった人材が必要とされ、実際にそうした人材を輩出しています。

## ■就職支援

知識情報・図書館学類では、学生の希望進路ごとにきめ細やかな就職支援を行っています。企業系志望の学生のためには、進路説明会や学生間で情報を共有するための「進路情報カフェ」などを実施しています。「進路情報カフェ」は、和やかな雰囲気の中で学生が少人数で気軽に就職についての情報交換ができる場になっています。

公務員・図書館志望の学生のためには、公務員採用試験に向けて独自の教養試験対策を行っています。

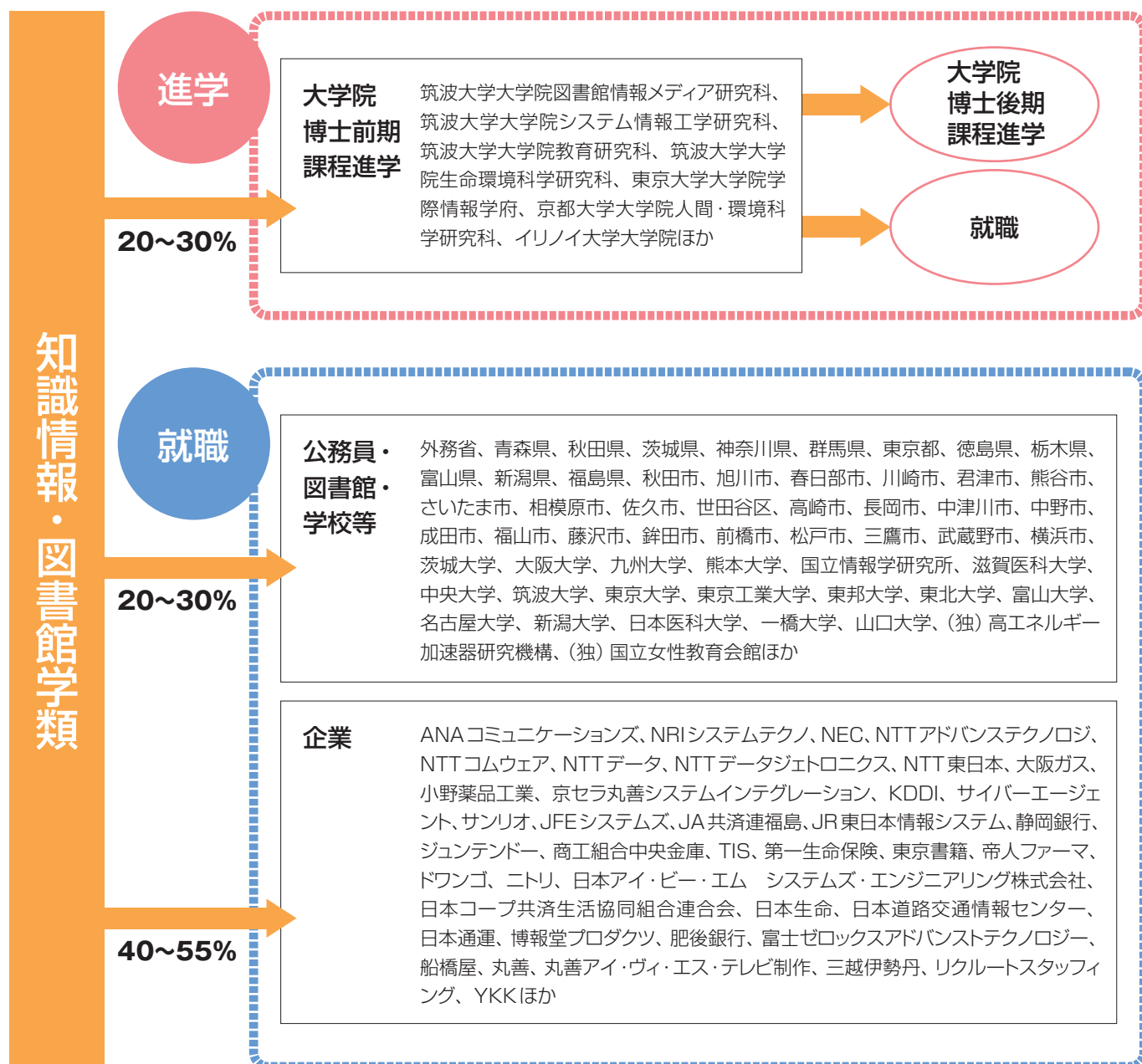


さらに、学生の個別相談に対応するため、進路指導担当教員のほか、独自にキャリアアドバイザー（週1日）を配置し、気軽に相談できるようにしています。進路説明会やOB・OG会社説明会なども開催しています。進路説明会では、キャリアアドバイザーによる就職活動のポイントについてのアドバイスや、進路（公務員、企業、大学院進学）別に先輩からの話を聞くことができます。また、全学レベルでのキャリア支援活動も受けることができます。



進路説明会

## 卒業生の主な進路





# 4年生から～進路編～



柘植 大 TSUGE Hiroshi

(進学)

私は長野国立高等専門学校から、知識情報・図書館学類へ3年次編入しました。入学当初は本学類の特徴である文理融合型カリキュラムに衝撃を受けたのを覚えています。私のような情報学を志す人間が図書館建築について学んだり、司書志望の学生がプログラミングに勤しむといった光景は、本学類ならではの光景です。もっとも文系・理系に関わらず、学問の根底にあるのは知識であり、これを幅広い観点から学び、一人ひとりが深めたいと思う専門領域を見つけられるところは、本学類最大の魅力でしょう。

現在、私は、情報アクセス論をテーマとするコンテンツ工学研究室に属しており、Twitter上のネットワーク形成支援に関する研究を行っています。卒業研究は、今まで学んできた知識を体現化する素晴らしい機会です。インプットを求められる高校（高専）までの勉強とは異なり、アウトプットの重要性、そして難しさを学べるのが卒業研究です。私自身も研究テーマの決定、研究計画の構築、研究実行、学会発表といった一連のプロセスを通して、知識を深めるとともに自身の足りない部分について再認識できたと思います。

そして卒業研究での反省を踏まえた上で、さらに研究を続けていきたいと考え、大学院図書館情報メディア研究科への進学を決めました。大学生になる前から、大学院進学をイメージするのはなかなか難しいかもしれません。それよりも大切なのは、4年間で自分が何を学び、何をしたいのかという目標を明確に持つことです。大学での4年間は、高校生の皆さんが想像する以上に短いものです（特に私は2年間だったのであつという間でした）。おそらくは入学前に掲げた目標の全てを達成することはできないでしょうし、新たにやりたいこともたくさん見つかると思います。そして卒業後の進路を考えたときに、まだ学び足りない、もっと知識を深めたいと感じるのであれば、そのときは是非大学院進学を考えてみてください。そのような学生にとって、大学院進学はとても魅力的な選択肢であり、間違いなく有意義な生活を送れることと思います。



藤森 由紀子 FUJIMORI Yukiko

(公務員)

私は、司書として働きたいという思いを抱いて知識情報・図書館学類に入学しました。

学生生活の4年間は、本学類の多彩な講義で学ぶ傍ら、複数のサークル活動やアルバイトなどの課外活動にも取り組み、非常に充実したものとなりました。学類主催の海外研修に参加し、米国図書館を見て回るなど知見を広める機会にも恵まれました。こうした様々な経験が、進路を考える基盤になったと思っています。就職活動を進める中で、司書職だけでなく、多様な分野に携わることのできる公務員への興味も抱くようになりました。

司書職を含め公務員試験は、教養試験や専門試験を含む一次試験を突破できれば、面接試験には辿り着けません。いくら学生生活が充実しようとして、二次試験に進めなければ自分をPRする機会を得られないという厳しい現実があります。そのため、早めの試験対策が重要になります。知識情報・図書館学類には、他学類にはない学習環境が整っています。本学類生のみが受講できる「公務員試験準備講座（教養模擬試験）」では、2年次から実際の試験と同様の雰囲気の中で問題に取り組みました。ここでは、自分にどの程度実力がついたのかを知ることができます。また、図書館には一般教養の基本図書も揃えられており、自分のレベルに合った教材で学習を進めることが可能です。私は、国家行政職・地方行政職・司書職など多くの試験を受験しましたが、こうした試験対策によって確実に力がついていることを実感できました。その結果、大学図書館と都内自治体の上級行政職の内定を得、図書館に限らず多くの経験を積みたいとの思いから、後者を選択しました。

また、就職活動を始めるにあたって、あるいは試験が進んでいく中で、不安や迷いが生じることも少なからずあります。そのような時は、友人達に加えて、進路指導担当教員やキャリアアドバイザーの方に相談することも強くお勧めします。様々な学生の進路選択を支えてきた方々の意見は、納得や安心につながり、今一度、自分の就職活動を振り返るきっかけになります。また、同年代ばかりの大学のなかで、年長者ならではの意見を聞ける貴重な機会でもあります。

4年間の学生生活をどう過ごすかは、進路選択に大きな影響を与えます。進路選択において、本学類は非常に恵まれた環境にあると言えます。



都築 祐美子 TSUZUKI Yumiko

(企業)

私は大学入学にあたり、「在学中に、自分の価値観や考え方を広げたり、色々な経験をしたい」と考えていました。筑波大学 知識情報・図書館学類にはその環境が整っていると思います。

学類では、本や図書館のことばかり勉強すると思われるかもしれませんが、もちろん、中心になるのは図書館学や情報学ですが、外国語や哲学、数学と幅広い学問に触れることができます。加えて、筑波大学は他学類の講義が取りやすいため、私は外部講師のグローバル社会についての特別講義や体育専門学群などの科目を受けていました。学類内の講義だけでなく、興味がある講義を積極的に受けたことで、色々な角度から物事を考える力がつけられたとともに、広い視野を獲得することが出来ました。また、3年生の春休みの1か月間を活用し、留学生センターのプログラムでトロント大学に語学留学しました。平日は大学の英語学習プログラムに通い、休日は多くの観光地に出かけ、日本ではなかなか経験

できないような出来事にたくさん触れることができました。

進路選択をするにあたり、テレビ業界への就職活動だけでなく、情報の教員免許取得を並行して行っていました。3週間の教育実習で身につけた「相手に正しく伝わるように話す」、「話の全体像が分かるように話す」といったことは企業の面接でも生かすことができました。就職活動と教育実習が重なり、スケジュール調整が難しい時期もありましたが、「一般企業と教員」という2つの選択肢を持っていたことで、多少気持ちに余裕を持って就職活動を行えました。結果として、希望していたテレビ業界へ就職することができました。

常に「挑戦してみたいこと・興味があることは何だろう?」ということ自分を問いかけ、思い切って行動することが大切だと思います。本当に、自分自身のために時間が取れるのは、大学生が最後になるかもしれません。サークル活動やアルバイト、ボランティアなど、何においても大学生のときの経験は、今後の自分を支える糧になると思います。

後悔ないキャンパスライフを筑波大学 知識情報・図書館学類で満喫してください!

## 春日エリアのキャリア相談室より

キャリアアドバイザー 神村 孝子

2012年4月より毎週金曜日に相談業務を行っています。相談内容は就活に限らず、「将来を意識した学生生活についてどう過ごしたいか」なども相談にのれます。学類生から大学院生の方まで学年を問わず、多くの方に利用していただいています。

個別相談のほかには『進路情報カフェ』など、学生さんが少人数で気軽に情報提供できる場も作ってきました。進路に不安はつきものですが、同じ状況の人と話すことでほっとできる場になっているようです。加えて、『お仕事研究カフェ』と称して大学図書館員や国大法人事務職の方を招いて懇談し、実際の仕事を具体的にイメージするための試みを行っています。また、『進路説明会』では「企業」「公務員」「大学院進学」などに決定した4年生から活動の流れや自分の体験を学生目線で語っていただいています。参加した学生さんからは「体験を聞くことで、自分がこれからすべきことが明確になった」などの感想が寄せられました。

私自身、就職課の就活アドバイザーも兼務していますので、就職課主催のイベントなどの情報提供もしています。就職課主催のイベントでは、企業の人事担当者やOB・OGが来学し身近に質疑応答ができる『学内企業説明会』(2015年3月には728社参加予定)や、面接対策などのための『就活フォローアップ講座』など実践に役立つものが数多くあります。イベントや個別相談を通じて他学類の人やさまざまな社会人と接することは進路への意識を高めるよいきっかけになると思います。

皆さん、春日エリアのキャリア相談室にもぜひ来てください。





# 学生生活Q&A

## Q 学類のホームページは？

**A** 学類のホームページは、<http://klis.tsukuba.ac.jp/> です。学生生活に関するさまざまな情報を提供していますので、アクセスしてみてください。

## Q 学生宿舎はありますか？

**A** 春日エリア内に春日学生宿舎があり、春日エリアの新入生は優先的に入居できます。全室個室、ベッド・机・椅子つきで、LANの設備もあります。寄宿料8,000円と共益費7,035円で月額15,035円（2015年4月1日現在）です。これにプラスして個室電気料が2,000円程度（個人使用分）、コインランドリー代1回100円、シャワー代9分100円がかかります。また、徒歩15分～20分のところに、追越学生宿舎と平砂学生宿舎があります。



## Q アパートは紹介してもらえますか？

**A** キャンパスの近くには学生向けのアパートがたくさんあります。台所と6畳の1Kで3～5万円程度で、徒歩や自転車で通える範囲から探すことができます。情報の提供は学生生活課で行っていますが、ほかに、地元ミニコミ誌が毎年秋に最新のアパート情報を掲載した小冊子を出しています。

## Q 入学金と授業料は？

**A** 2015年度の場合、入学金は282,000円、授業料は年間535,800円です。なお、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

## Q 授業料免除の制度はありますか？

**A** 全額免除・半額免除・1/3免除があります。2014年度知識情報・図書館学類の場合、免除者は37名でした。

## Q どんな奨学金がありますか？

**A** 日本学生支援機構による奨学金制度には、無利息の第一種奨学金と利息つきの第二種奨学金があります。

2015年度の場合（月額）

●第一種奨学金（希望額を選択）

〔自宅通学者〕 30,000円、45,000円

〔自宅外通学者〕 30,000円、51,000円

●第二種奨学金（希望額を選択）

30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円

その他、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、地方自治体や財団法人による各種奨学金制度もあります。

## Q 奨学金の貸与を受けている人はどのくらい？

**A** 2014年度知識情報・図書館学類の場合、日本学生支援機構の第一種奨学生は59名、第二種奨学生は68名でした。

## Q 授業時間はどのくらいですか？

**A** 1時限は75分で、休憩時間が15分です。昼休みは50分あります。1時限目は8:40に始まります。

## Q 授業のある日は？

**A** 春学期（4月1日～9月30日）、秋学期（10月1日～3月31日）、それぞれに3つのモジュール（A、B、C）があり、この期間の月曜日から金曜日に授業があります。週2時限で10週間の授業に試験またはレポートが基本ですが、5週授業（週4時限）、15週授業（週1時限）、30週授業（週1時限）の科目もあります。土曜や休暇中の集中授業もあります。夏休みは8月中旬から9月末まで、冬休みは12月下旬から1月上旬、春休みは2月中旬から4月上旬までです。

## Q 休日に図書館や実習室が使えますか？

**A** 図書館情報学図書館が9:00から22:00（土日祝10:00から18:00）、春日エリアの実習室が8:00から22:00で、休業期間中は短縮されます。春日エリア外の図書館や実習室も利用できます。ただし、授業のため利用できない場合があります。なお、コンピュータシステムは基本的に年中無休でいつでも利用できます。

## Q パソコンは必要ですか？

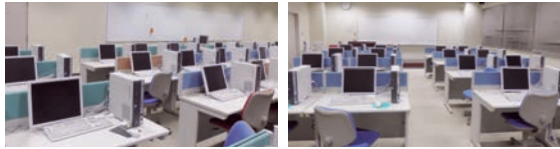
**A** 春日エリアには、約230台のパソコンが設置されており、自由に使うことができます。ただ、自宅や宿舎で好きな時間に利用するために、多くの学類生は自分自身のパソコンを持っているようです。春日エリアのすべての教室では無線LANが使える、春日学生宿舎のすべての個室には情報コンセントがあります。

### Q 個人のWWWページをつくれますか？

A 全員が電子メールアドレスをもち、個人のWWWページを公開できます。

### Q どんなコンピュータが使えますか？

A 学生全員が使うコンピュータシステムではWindowsとLinuxの両方が使えます。



### Q 健康相談はできますか？

A 保健管理センターで、けがや病気などに対応できる体制になっています。学生生活で生じた不安や悩みなどは、専門のカウンセラーの先生に相談できます。また、スチューデントプラザと春日エリアには総合相談窓口があり、気軽に相談できるようになっています。

### Q スポーツや文化活動の施設は？

A 筑波大学にはさまざまな施設がありますが、春日エリアには多目的グラウンド、体育館、テニスコート（5面）、弓道場などのスポーツ施設があります。また文化系サークルのスペースとして共用室や和室があります。

### Q どのくらいのサークルが活動していますか？

A 筑波大学には100をこえる課外活動団体があります。

### Q 学食や売店はありますか？

A 春日エリア内には学食と売店（書籍・文房具）があります。

### Q 大学構内の移動は？

A 路線バスを使って大学中央や他エリアに移動できます（平日8:00～21:00は10分間隔）。学生は年間8,600円の学割定期券で、つくばセンターから大学構内までの路線バスをいつでも自由に乗り降りできます。また、自転車で移動する学生も大勢います。

### Q 新入生の時間割は？

A たとえば1年次の入学当初はこんな時間割になります。

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
月	総合科目Ⅱ	第2外国語	第1外国語			
火	情報基礎	知識情報概論		図書館概論		
水	情報数学	リサーチメソッド				
木	情報基礎実習	第2外国語	第1外国語			
金			体育		第1外国語	

### Q 交通の便は良いですか？

A 春日エリアから徒歩10分のかづさ駅からは、つくばエクスプレスで秋葉原まで45分、高速バスで東京まで約90分から110分です。また、羽田空港、成田空港へのバスもあり、どちらも100分ほどです。

### Q 近くで買い物ができますか？

A 春日エリアから徒歩10分のかづさセンター（つくば駅）と3キロほどの研究学園には、それぞれ大きなショッピングセンターがあります。さらにコンビニエンスストア、書店、スーパー、百貨店、家電量販店なども近くにあり、買い物にはとても便利です。



### Q 近くに文化施設はありますか？

A 春日エリアから徒歩数分のところにプラネタリウムや県立美術館、市立図書館などがあります。



### Q 新入生の1日は？

A 新入生はこんな1日を過ごしています。

- 7:00 目覚まし時計が鳴る。まだ眠いが二度寝が怖いので起床
- 7:20 朝食は簡素に。朝から料理するのは無理
- 8:30 宿舎から教室までは3分ほどだが、余裕をもつにはこのくらいに出ないと……
- 8:40 1、2時限、情報基礎実習
- 10:40 今日の実習項目終了。早く終わったら帰ってもよいのがこの科目のよいところだ
- 11:30 昼食。今日は友人と学食で食べよう
- 12:15 3時限目は中国語。外国語と体育、そして総合科目Ⅲは別のエリアで受けるので、自転車は手放せない
- 13:45 4時限目、英語
- 15:15 宿舎に帰り着く。今日の5、6時限目は空き時間。英語の宿題をしておこう、英作文は何について書こうかなあ
- 17:15 サークルに行く前に風呂に入っておこう
- 18:15 さて、サークルだ。もうすぐ公演だからがんばらないと
- 20:30 今日はいつもより早く終了。帰る前に買い物だ
- 21:15 買い物を終えて帰宅
- 22:40 宿舎の仲間と話をしながら夕食
- 23:30 寝る前にちょっとだけパソコンを立ち上げてブログを更新。宿舎にLAN回線が通っているので便利
- 0:00 就寝。明日も1日ががんばろう……



# 3年次編入

## 1. 編入について

知識情報・図書館学類では、次の2種類の編入生を受け入れたいと考えています。

- ①類似した領域から来て、そこで習得した知識・技術を深める
- ②異なる領域から来て、そこで習得した知識・技術をもとに新しい道をめざす

①のタイプは、たとえば短期大学で司書資格科目を履修したり、高等専門学校で情報工学を専攻したりするうちに、より専門的に学びたいと考えるようになった人たちです。②のタイプは、たとえば法律学や化学を学んで、その知識を知識情報学（図書館情報学）のなかで活かして法律図書館や化学情報といった今までとは異なる領域について学びたいと考えるようになった人たち、あるいは情報工学を技術的側面から学んできたのちに社会的側面からも学びたいと考えるようになった人たちなどです。

## 2. 入学試験

入学試験では、学習計画書を提出していただき、その内容について30分程度の面接・口述試験を行います。

学習計画書には、自分は①のタイプなのか、あるいは②のタイプなのかをよく考えて、2年間の大学生活でどのようなことを学びたいのかをまとめてください。学習計画書を補足するための資料を添付してもかまいません。

面接・口述試験では、10分程度でこれまでの学習内容、志望の動機、これからの学習計画などについて説明していただきます。試験時に説明用資料を配布することもできます。

編入学試験では、その時点での学習計画をきちんと説明できることが重要で、入学後にその学習計画を変更してもかまいません。

## 3. 入学

合格発表後、8月末の土曜午後に東京キャンパスで合格者向けのガイダンスを実施します。カリキュラムや単位認定についての概要を説明したうえで、クラス担任予定者や教育課程の教員が、個々の合格者ごとに単位認定の見通しの試算や主専攻選択について個別面談を行います。例年、ガイダンスでの単位認定見通しを受けて、在籍校での履修計画を見直す人が多く、結果的に編入学時の認定や入学後の履修がスムーズに進むようです。

卒業に必要な単位数の約半分を、編入学時までの学修内容に応じて単位認定します。これまでの実績では55単位～69単位、平均すると約63単位が認定されています。卒業に必要な単位数は125.5単位ですから、編入学後63単位前後の履修が必要になります。1年次入学の標準的な履修プランでは1・2年次で約80単位、3・4年次では約50単位となっています。

知識情報・図書館学類生としてかならず学んでほしい科目は単位認定の対象外なので、1・2年次生に混ざって受講する必要があります。この場合、同じ時間帯に開講される3・4年次向けの専門科目は4年次に受講することになります。

編入学者は3年次生として、三つある主専攻のひとつに所属し、1年次からの学生に混ざって主専攻実習や専門科目を学びます。卒業研究の研究室配属は3年次秋に行います。

背景が異なるさまざまな編入生を受け入れるため、クラス担任を中心に、学習計画の指導に力を入れることになっています。計画的に履修すれば司書資格の取得は可能ですが、教員免許状を2年間で取得するのは不可能です。

## 4. 説明会

2015年4月25日（土）13:30から春日エリアの情報メディアユニオンにおいて編入説明会を行います。

# 先輩の声

以前は多くの時間をロボット工学を学ぶことで過ごしていました。そのため、いわゆる文系の授業というものを受けたことがなく、この大学での授業についていけるのか少し心配していました。なぜなら、私がこれまでに経験してきた文系の授業の多くは、過去の事象を一方的に押し付けられて暗記させられるものであり、そういった授業をつまらなくと考え敬遠していたからです。しかし、この大学での授業は、過去の事象を学びつつ、未来はどうなるのか?について考える授業が多く、思考のトレーニングとなります。私はわずか数ヶ月で、文系の授業のほうがむしろ好きになりました。

また、筑波大学は他の学類の授業を履修しやすい環境です。私も興味のある他学類の授業をいくつか履修しました。一つの分野に留まらず、多様な知識を身につけたいと考えている人には優しい環境と言えるでしょう。

世の中では多くの場合、特異な考え方を持っている人に対して、周りの人に合わせるように求められがちです。しかし、筑波大学は特異であることを良しとする風潮があります。そのため、この大学では独自の生態系が広がっており、いわゆる「変」な人が多く存在しています。そしてこの「変」な人達は、なんらかの分野で非常に優秀な能力を持っていることが多いのです。特に、同世代で自分と似た志を持った優秀な人の存在は、とても刺激になります。一生付き合い続ける友人も生まれてくることでしょう。積極的に学類を超えた交流をすることをお勧めします。

ここまで筑波大学の環境について書きました。しかし一番大切なことは、この環境を使うのは、入学するあなた自身だということです。あなたが、最大限の工夫をして、この環境を使い倒すという意気込みでいれば、きっと筑波大学での経験は素晴らしいものになるでしょう!



稲垣 洸雄  
INAGAKI Hironori  
(高専出身)

知識情報システム主専攻



河本 毬馨  
KAWAMOTO Marika  
(短大出身)

情報資源経営主専攻

「筑波大学に編入してよかった!」編入してからの1年を振り返ると、この一言に尽きます。私は短大の頃に司書資格を取得しましたが、2年間勉強しただけでは不十分なのではないかと感じて編入しました。実際に不十分だったのだと、入学してすぐに気がつくと同時に、様々な構成要素から成り立っている図書館情報学の面白さと奥の深さを改めて認識しました。

編入に関して不安に思うこともたくさんあるかと思います。私も、まず初めての一人暮らしが不安でしたし、友達はあるのか、授業についていけるのか、などと考えていました。でも、心配することは何もありません!一人暮らしは楽しいですし、編入生はみんな個性的で楽しく、誕生日を祝いあうなどと仲良しです。1年生から筑波大学にいる3年生も暖かく迎えてくれたり、編入の先輩方からアドバイスを頂いたり横のつながり、縦のつながりもあり安心です。授業に関しては、私はプログラミングに苦戦していますが、高専からの編入生など多くの友達に助けってもらって少しずつですが理解しています。今までずっと文系だったため触れたことのなかったプログラミングも、分かつととても面白いです。

編入生は忙しくて大変そう、というイメージを持っている方は多いと思います。確かに授業数も多いですが、その分関心の深い授業ばかりですし、サークルに入っている人もたくさんいます。私はサークルには入らずアルバイトをしていますが、他学類の友達もできて、刺激的な毎日を送っています。

受験を決めた皆さん、迷っている皆さんもぜひ頑張ってください!あなたの「筑波大学に編入してよかった!」という声を聞くのを楽しみにしています。

## 3年次編入のためのQ&A



### Q. 編入学した人の出身は?

A. 年度によって異なりますが、高等専門学校と短期大学出身者が多いようです。高専での学科は、情報工学科、電子情報工学科のみならず、電子制御工学科、電子工学科、電気工学科、機械工学科、環境都市工学科まで多彩です。2015年度の場合、高専10名、短大4名、大学1名、専門学校1名です(定員10名)。

### Q. 学生宿舎には入れますか?

A. ほとんどの人は最寄りの春日宿舎に入れますが、時として追越宿舎(徒歩約15分)が割り当てられることもあります。

### Q. サークルに入れますか?

A. 多くの人がサークルに入っています。

### Q. 知り合いは多くできますか?

A. 入学直後の2日間連続のオリエンテーションなど、編入生同士が出会う機会が多く、毎年仲良くやっているようです。また、1・2年次生と同じ科目を履修するため、学年を越えた知り合いも沢山できます。

### Q. 他学類・他学群の授業は取れますか?

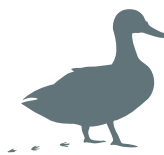
A. 可能です。ただし、短期間に多くの科目を取らなければならない編入生にとっては、現実にはかなり厳しいと思われます。

### Q. 文系学生はプログラミングや数学が大変?

A. 大変です。ただし、理系か文系かで決まるのではなく、個人のやる気に依存します。数学もプログラミングも専門家を育てるためではなく、どのような分野でも必要な数学的な考え方、論理的思考力を養うための科目となっています。



# 先輩から



梶崎 羽菜 NARAZAKI Hana

知識情報・図書館学類1年

図書館情報大学が筑波大学に併合されてできた知識情報・図書館学類と聞いて、本好きならば誰もが興味をそそられるのではないのでしょうか。私もその一人で、本が大好きだったので図書館について勉強できるなんて幸せだと考え、この学類を志望しました。

しかしこの学類に入学してみると、図書館に直接関連する内容は少なく、プログラミングや統計など一見図書館には関係のないような分野を学んでいます。最初のころは、なぜ図書館に全く関係のない分野の勉強をせねばならないのだろうかと思っていましたが、しばらくたつと直接的には関係がないように見えるものでも図書館につながっていることに気づきました。例えば、プログラミングは図書の検索システムを構築する上で非常に大事なものとなってきますし、統計は様々な資料を読み取る際に役立ちます。

このように、一つの物事に対して様々な方向から学んでいけるところがこの学類のよいところだと思います。また、この学類は文理融合の学類です。だからこそ、高校までの文系、理系の枠組みにとらわれることなく、数学やプログラミングから哲学まで多くの内容を学ぶことができ、さらにいろいろなタイプの人と関わることができます。文理融合型で、様々な角度から学びを深められるこの学類で、私は高校までに出会ったことがないような人に出会って刺激を受けたり、興味が全くなかった分野に関心を持ったりするようになり、自分の世界が広がったように思います。みなさんもこの学類で、新しいことに出会って自分の世界をひろげませんか。

河野 晋策 KONO Shinsaku

知識情報・図書館学類1年

知識情報・図書館学類は文理融合型の学類です。大学の講義も文系・理系と講義のタイプがわかれてくるものです。私自身は理系出身ですが、やはり文系の講義では苦勞することもあります。そういうとき文系の友人を頼って手伝ってもらうことがあります。逆に理系の講義では私が文系の友人を手伝うこともあります。文理融合の利点はここにあります。

筑波大の卒業生には偉大な方が大勢いらっしゃいます。実際にその方々にお会いする機会もあったり、インターンに誘われたり、自分の将来を考える上で不足はありません。私はプログラミングがしたくてこの学類に入学したのですが、プログラミングを武器に会社を設立した先輩や、大手の企業に入社した先輩にお会いし話を聞かせてもらう中で、今の自分に何が足りないのか、これからどうすればよいのか考えることができました。また、この学類は横だけでなく、縦の繋がりも作りやすい学類です。

多くの講義が少人数制で行われており、指導が行き届いて各講義に対する理解度も高いものとなっています。講義選択の自由度が高く、自分の興味で他学類の講義を受講することも可能です。学類自体の講義では、情報学やIT分野のユーザ寄りの学問が学べて、今私たちの身近にあるデバイスに詳しくなることが可能です。これは今となってはどんな企業においても必要とされている力なので就職に有利なのは言うまでもありません。

以上になりますがこの学類の魅力は伝わったでしょうか。では皆さんが私たちの後輩になることを心待ちにしています。



梅宮 朝雪 UMEMIYA Asayuki

知識情報・図書館学類2年

みなさんは、大学ってどういうところだと思いますか？

私が大学に実際に入って感じたのは、「物知な人が多い」ということです。この学類なら、メディアやコミュニケーション、文学や法律のこと、システム系のことなど、図書館だけには留まらない関連項目に詳しい人がたくさんいます。

さらに知識情報・図書館学類には、KLC（春日ラーニングコモンズ）という学習サポート環境があります。ここには物知な上級生がいて、授業でわからなかったところを質問すると解決のヒントを与えてくれます。答えではなく、ヒントなのです。

たとえば1年生の授業で多くの人が苦勞するであろうプログラミング演習。「課題に対してこういうプログラムを書いたけれど、実行結果が予想と違うのはなんで？」と質問にいくと、「プログラムのこの部分はこういうふうに動いているか考えてみましょう、どこそこに解説が載っているよ」と答えてくれます。このように、自分が苦手な分野でも助けてくれる人がきつといます。また逆に、自分が得意な分野で人を助けることもできるのです。

自分が得意分野を作るためにできることはたくさんあります。授業をしっかりと理解して、後輩に説明できるようになるのもそのひとつです。講演会やセミナーなど学外のイベントでも「知識情報学を勉強しています」と言えば講師の方はいろいろなことを教えてくれると思います。

幅広い分野に関心を持って学べるのがこの学類の強みだと私は考えています。みなさんもこの学類でいろんなことを学び、また学んだことを伝えられるようになりませんか？



## 村田 龍太郎 MURATA Ryutaro

知識情報・図書館学類2年

その昔、私はここ、知識情報・図書館学類が図書館について学ぶ上では日本一だと信じ、司書志望で入学したのでした。しかし、ふと気づくと私は哲学や法制度を学んでいて、さらには統計やプログラミングにも取り組んでいる生活を送っていました。ここで、「学ぶ」のページに戻ってこの学類の卒業研究では何が行われているかをみてみてください。さまざまな分野の研究が行われていることが分かると思います。そうなのです、この学類は本当に文理融合なのです。

みなさんはもしこの学類に入ったとしたら、やろうと思えばなんでもできるこの環境で何を学ぶのでしょうか。時間割が自分で決められ、学びが授業だけでは完結しないという大学生活においては、自分から学びに行くことがとても大切です。この学類は幅広く学べるがゆえに、これを学びたいと思うものにみなさんを惹きつけ、出会うきっかけを与えてくれると思います。ちなみに私は入学してから教育にも興味が出て、教員免許の取得もめざしています。

こういう学びの幅広さのもとに文系・理系両方から人が集まるからか、この学類ではいろいろな人がいて、しかもその多様さを受け入れようとする雰囲気があるように感じています。穏やかな人がいて自分の居場所を作ってくれたり、学びがとても好きな人がいて一緒に一晩語り合ったり……。私も入学当初は不安でしたが、充実した人間関係をしっかりと築けることを実感しました。

私はほかのどこでもない、知識情報・図書館学類に来て本当によかったと思います。ぜひともこの学類と一緒に学びましょう。

## 小板橋 優 KOITABASHI Yu

知識情報・図書館学類3年

知識情報・図書館学類と聞いて、みなさんにはどのようなイメージが浮かびますか？おそらくほとんどの方は「図書館」という言葉通り、図書館について勉強できるところだと思われるのではないのでしょうか。

しかし、実際に入学してみると、この学類はけっして図書館だけにとはとらず、「法律や経営学、データベースの成り立ち、多数の言語によるプログラミング」といった、実に多くのことを学ぶ学類であることが分かります。この幅広い授業内容を少しずつ理解していくことで、将来自分のやりたいことが見えてきて、将来のために必要となるスキルを身につけることができます。また、文系理系を問わないこの学類には型にはまらない多種多様な人に会えます。私の学年ではそれぞれの得意分野を活かして、レポートの情報交換をしたりと、忙しいながらもなんとか課題やテストを乗り切りました。

辛いことが終わったら、美味しいものを食べに行ったり、サークルに打ち込んだり、つくばの広大なキャンパス内を自由気ままに散歩したりと、それぞれの大学生活を楽しんでいます。つくばには美味しい料理店やパン屋がたくさんあります。本を一冊もってパン屋に向かって、そこでゆったりと過ごすといった優雅な休日などもできちゃいます。

大学生活では今まで自分が経験したことのないことがたくさん待っています。授業にサークル、一人暮らしにアルバイト、自分の思い描くことは自身の行動次第でいくらかでも楽しくやり遂げることができます。みなさんはどんな理想の大学生活を思い浮かべますか？知識情報・図書館学類には素晴らしい環境があります。みなさんもぜひこの学類と一緒に学び、遊び、成長していきましょう！



## 高久 雅生 TAKAKU Masao

図書館情報メディア系 准教授 図書館情報大学卒業、筑波大学大学院修了、博士（情報学）



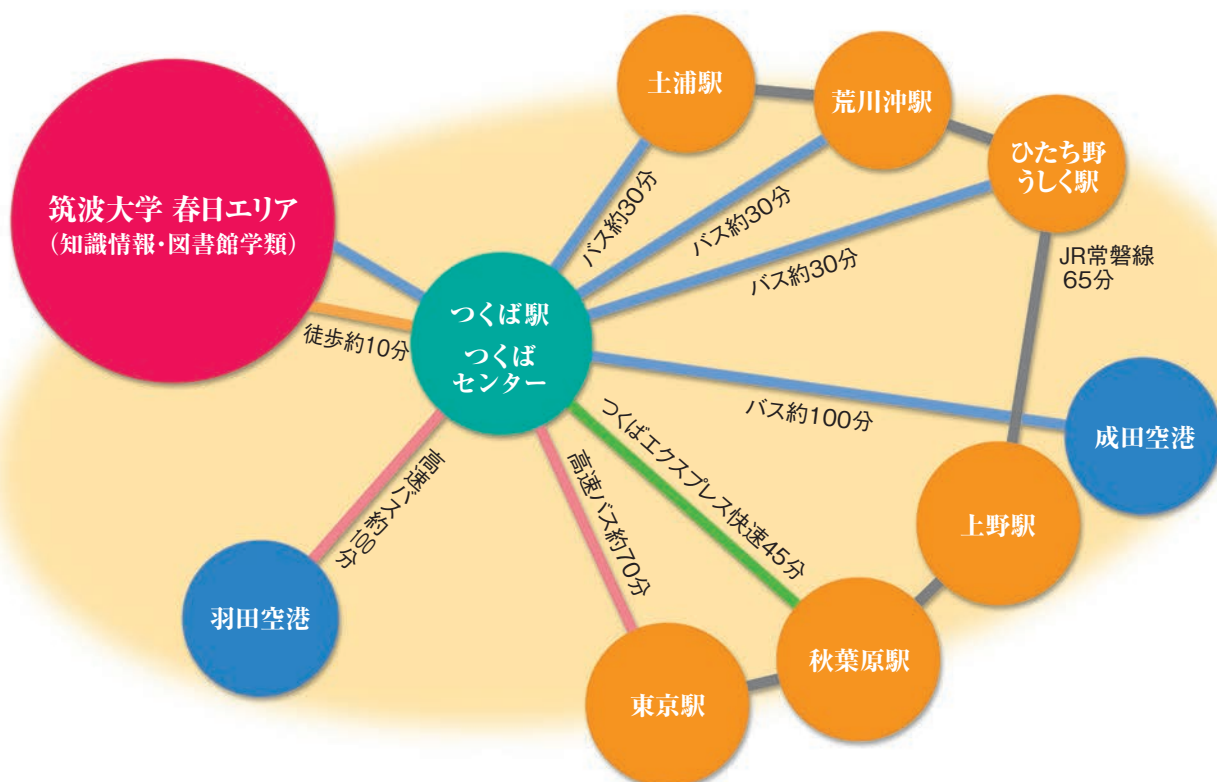
昔々、読書少年だった私は、親にやめろといわれても、授業中に教師に叱られながらも、本ばかり読んでいました。大学に入る頃は図書館の司書にでもなろうかと、ありがちな志望動機で大学に入学しました。しかし、大学に入学して初めて触ったコンピュータやプログラミングやWebの分野とその発展は、図書館の勉強よりもはるかに面白く感じ、気づいてみれば、情報科学の研究の道に入りこんでいました。

大学の重要な役割は学び方を学ぶ場。学生としてすごした筑波の地に、実務の場を経て、また教員として戻ってきて、ますます強く思うようになりました。大学で学んだことはそれだけではほとんど役に立ちませんし、モノによっては10年と経たずに役立たずになっていることさえあります。だからこそ、長く学び続けるための手がかりと方法論を実践する必要があります。とりわけ、本学類が求める人材は、

知識と情報の専門職であり、自身のみならず、他人の学びをも支援することが必要です。

広い分野に対する好奇心を大事にしながらも、興味のおもむくままに夢中になれるナニかがあれば、それが一番と思います。





### 徒歩

「つくば駅」(A1、A2出口)または「つくばセンター」から徒歩約10分です。

### 鉄道

秋葉原駅からつくばエクスプレス 快速に乗ると45分で「つくば駅」に到着します。

JR常磐線 ひたち野うしく駅、荒川沖駅、または土浦駅で下車し、「つくばセンター」行きもしくは「筑波大学中央」行きのバスに乗ると、約30分で「つくばセンター」に到着します。

### 高速バス

東京駅八重洲南口高速バスターミナル発「つくばセンター・筑波大学」行きに乗ると、約70分で「つくばセンター」に到着します。

### 車

常磐道「桜土浦IC」で降り、東大通りを約5.2km北上し、左折して北大通りに入り、2つ目の信号を左折すると「筑波大学春日エリア」に到着します。

### 飛行機

羽田空港からは高速バスで、成田空港からはバスで「つくばセンター」まで約100分です。



## お問い合わせ

〒305-8550 つくば市春日1-2  
**筑波大学 図書館情報エリア支援室**  
 TEL:029-859-1110 FAX:029-859-1162

<http://klis.tsukuba.ac.jp/>  
 E-mail [klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)

2015年発行



**R70**  
 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

